



第 112 号

東米ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

令和2年 5月10日発行
発行責任者 高橋 哲男
編集責任者 小山田朋樹
E-mail:bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
http://higashikurume-toumonkai.com/
事務局 大矢 真弘 Tel042-475-8532

第 26 回定時総会中止及び本年度の稲門会活動について

東久留米稲門会会長 高橋 哲男

会員の皆様、日頃東久留米稲門会をご支援、ご協力いただきましてありがとうございます。本来であれば、草花は競うように咲き、木々の緑も色鮮やかになり、入社式、入学式と活気あふれた時期ですが、ニューコロナウィルスの猛威により世の中、閉塞的状況であります。皆様はご健勝にお過ごしのことと存じます。また、今後も続くニューコロナウィルスに対してご健康には充分ご配慮のをお願いいたします。

ニューコロナウィルスの為、春の選抜高校野球が中止になったことから、定時総会中止の決断をし、その後、校友会からも4月末まで総会等の自粛の要請があったので会員の皆様に定時総会中止の連絡をいたしました。定時総会に代わるものとして、定時総会資料と返信ハガキを配布しますので、別紙ご案内の通り異議及び質問がある方は、ハガキを投函してください。承認される方は返信不要です。大変申し訳ありませんが、緊急事態宣言ですので、本年度マグカップ対象会員につきましては、執行部より記念品をお届けする予定です。今回の対象者は、荻草正守、小池忠之、笹井瞭三、遠山晃司、平子敏夫、帆角信美さんです。お祝い申し上げます。また、定時総会中止になったことから、年会費の納付が難しい会員につきましては、部会開催時に部活動に属している役員を通じて納付することもできます。

現在、校友会からは9月19日まで自粛要請が延長されていますが、部活動より閉塞感の解消を図ることは必要であると思われ、自主判断の活動です。但し、部会長の皆様には、市内でも感染者が増加していますので、3密を考慮して部会員へ安全の配慮を充分お願いします。

稲門祭については、9月19日まで会議も自粛されていて準備が困難なこと及びいまだ稲門祭グッズ販売の依頼がないことで開催が難しい状況ですが、中止となった場合は、補助金の申請ができないのでスポーツ関係部への寄付は、来年度に延期する予定です。尚、収支計画は開催を前提としています。

また、当会は、東京三多摩支部主幹稲門会ではありますが本年度の三多摩支部の運営についても苦慮しています。現在は、収支計画を含めて三多摩支部大会開催を予定して計画しております。

年内の行事は、難しいと判断して来年新春から活動はじめる稲門会もありますので、本年度の東久留米稲門会活動についても、ニューコロナウィルスの終焉状況によることを踏まえ、東久留米稲門会としては、早く行事を再開したいのですが、遅くとも新年会は開催したいと思っております。

未曾有の国難に対して東久留米稲門会としても乗り越えていきたいと思っておりますので宜しくご協力お願いします。最後に会員の皆様にはご健康に本当にご留意するようお願いいたします。そしてご自身及びご家族を大切にしてください。

会の告知板

【部会予定】

- | | | |
|-----------------|---------------------------|------------|
| 5月11日(月) | ウォーキング & 山歩き「高山不動、関八州見晴台」 | <中止> |
| 5月17日(日)~18日(月) | 旅行同好会「館山寺温泉/豊川稲荷」 | <中止> |
| 5月28日(木) | 映画鑑賞会 第67回順延 <鉄道員> | 開催可能日まで再延期 |

6月7日(日)	令和2年度第1回役員会	<中止>
6月8日(月)	ウォーキング & 山歩き「鎌倉長谷寺 or 小岩菖蒲園」	<中止>
7月9日(木)	ウォーキング & 山歩き「浅草寺のほおずき市」	<開催未確定>

<各部会定例活動一覧> . . . すべて活動休止 . . .

【大学・校友会関係】

5月15日(土)	東京三多摩支部会計監査	<中止>メール対応
6月27日(土)	校友会臨時代議員会	<中止>
7月18日(土)	東京三多摩支部 幹事長・事務局長連絡会議	<中止>

会の報告

◎2019年度東京三多摩支部引継会議の報告

2020年3月21日(土)青梅市総合体育館会議室において、三多摩支部の引継会議が行われ、当会から高橋会長、小山田副会長、山口事務局次長、有賀幹事と大矢が出席した。14時から15時まで、2019年度担当の青梅稲門会から2020年度担当の東久留米稲門会に会計関係の説明があり、15時より17時まで、2019年度の青梅・昭島・羽村の3稲門会から、2020年度の東久留米・清瀬・東村山の3稲門会へ2019年度活動報告、決算案、2020年度各稲門会の総会日程並びにブロック制と支部長任期複数年制について報告があった。決算については前年度繰越金が70万円から90万円に増えており、支部長複数年制については、26の市の状況も様々なので、慎重に検討するべきではないかという意見が出た。

三多摩支部の主幹としての1年間、幹事の皆様のご協力を心よりお願いし、ご報告といたします。

大矢 真弘 記

◎役員会報告

2020年度臨時役員会は、4月5日(日)に予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とし、メールにて内容確認を依頼した。

1. 第26回定時総会について：以下のような内容で行う予定であったが中止とし、文化講演会は次年度に同内容で行うこととする。

(1) 文化講演会 4月18日(土)14:00~15:30 講師：正田浩司氏、講演名：「武蔵野の自然史 東久留米市周辺の地形・地質」、講演の看板：(大矢)

(2) 定時総会 15:40~16:30 議長：高橋会長

(3) 懇親会 16:45~18:30 (4) 定時総会などの準備 (5) 事業計画、

予算案について

(6) 次年度総会日程について：2021年4月17日(土)予約済

2. 幹事長・事務局長会議・代議員会の報告：中止になったため、報告なし。

3. 組織強化補助金について：本年度も継続するので申請。寄付する部は「ソフトボール部」とする。2021年度は「ボクシング部」の予定。

4. 広報関係

(1) 東稲ニュース：No.112(5/10刊行)「編集案概要と原稿執筆依頼」を別途メールにて配付

(2) ホームページ(HP)閲覧不能事故について：

- ・経過報告(概要)：当会 HP のサーバーをレンタルしている GMO インターネット(株)から、契約担当者へ2019年9月ごろサーバー移行の連絡はあったらしいが、病気療養中で見ることができず当会に伝わらなかった。1月に入り HP の不具合が出てきたので、GMO に連絡したが問題は解決でき



なかった。2月の役員会で坂井氏に問題解決を依頼し、またバドミントン部に参加している専門家の森野氏の尽力のおかげでデータが復活し、現在に至っている。

・HP復旧経費・・・74,000円

・今後の課題

①GMO社と契約を継続するか? : HP改善のため2020年度の予算として10万円を計上し、検討する。なお、勘定科目として「ホームページ関連」(22)を新設することとする。

②今後の窓口等を誰にするか: 契約者=会長、会社からの連絡担当者(テクニカル)=坂井氏、請求書宛先=会長が受領し会計清水氏に渡す、入会申込の宛先=会長・坂井氏・事務局長、HP運営管理者=坂井氏+今後検討。

5.その他

(1) 近隣稲門会等について(中止の可能性あり)

稲門祭実行委員会	4/10(金)	中止
三田会総会	4/25(土)	中止
清瀬稲門会	5/24(日)	清瀬アミューホール
西東京稲門会	6/21(日)	東伏見キャンパス
<臨時>三多摩幹事長事務局長会	7月	
三多摩会長会	8/22(土)	大隈会館N201・大隈記念ター
小平稲門会	10/10(土)	ルネ小平
早大稲門祭	10/18(日)	早稲田大学
東村山稲門会	11/21(土)	サパルネ・コンベンションセンター
三多摩支部大会	11/22(日)	大隈講堂・大隈ガーデンハウス
三多摩会長懇話会	12/4(金)	大隈会館「楠亭」



(2) 映画鑑賞会について: 「鉄道員」・・・2/27(木)上映を5/28に延期したが再順延とし、開催可能を見極めて上映日を決定する。

(3) 家族会員について: その位置づけにつき現行規約の第3条と第11条改正の必要あり、事務局より下記「改正案」を提案。次年度総会にて審議予定。

現行: 第3条 1.本会は、会員および準会員をもって組織する。2.会員は、東久留米市に在住または在職する早稲田大学校友、ならびに推薦校友とする。3.準会員は、東久留米市以外に在住する校友、および本会または本会会員に縁故がある者であって会長が推薦し役員会で認めたものとする。

第11条 本会の会費は、次のとおりとする。年会費: 3,000円、臨時会費: 必要に応じて徴収する。

改正案: 第3条 1.本会は、会員・家族会員および準会員をもって組織する。2.会員は、東久留米市に在住または在職する早稲田大学校友、ならびに推薦校友とし、家族会員は会員の配偶者で、会の目的に賛同し総会並びに部会活動に参加しているものとする。3.準会員は、東久留米市以外に在住する校友、および本会または本会会員に縁故がある者であって会長が推薦し役員会で認めたものとする。

第11条 本会の会費は次のとおりとする。年会費: 3,000円、年会費(家族会員)1,000円 臨時会費: 必要に応じて徴収する。

大矢 真弘 記



部会だより

新型コロナウイルス感染症の地球規模での拡大という未曾有の事態となり、政府からは緊急事態宣言が発出され、大学当局からは9月19日(土)までの長期にわたる校友会活動の休止要請が出されました。そのような状況下、東久留米市の公共施設使用制限もあり、我々の部会活動もほぼすべて休止状態となってしまいました。外出の自粛、対人接触の8割削減が強く要請される中、感染拡大を防止し、沈静化の兆しが顕著となるまでは、今しばらく活動は我慢せざるを得ない状況だと思えます。部会活動の予定も報告もない「東稲ニュース」となってしまふのはあまりにも寂しいので、編集委員会として部会長の皆様に「部会長だより」をお寄せいただくよう依頼しました。届いた各部会長からのメッセージを一覧表でお届けいたします。

部 会 名	部会長からのメッセージ	部会長
女性	コロナウイルスの感染防止のために外出も控える日々ですが、皆様おかわりなくお過ごしのことと存じます。三月に予定していました食事会も延期になり、中央地区センターでの読書会もいつ再開できるか分かりませんが、今回は「雨月物語」の最後「貧福論」を終え、「方丈記」を読み始める予定です。鴨長明の生きた時代も現代も相通じるものがあるように思います。皆様と感想を話し合うのを楽しみにしております。	三浦洋子
ゴルフ	会員の皆様も新型コロナウイルスで不安な日々をお送りしていると推察いたします。ゴルフ場も営業しているがレストラン、風呂はなしのところが多くなっています。プロの大会も中止、練習場もクローズとゴルフ愛好者の皆様もストレスが溜まっているのではないのでしょうか。コンペも昨秋から天候不順やコロナの影響で中止させていただきました。次回のコンペは三田会との合同コンペが6月11日(木)の予定でしたが、終息が見えない事で中止となりました。会員の皆様もコロナ対策と体力維持に努め秋のコンペでお会いしましょう。	金子孝司
囲碁	皆さん、元気に自粛していますか？ 囲碁はネットでも対戦ができますし、現在同じ境遇の方たちが多く、対戦そのものには事欠きません。ですが顔も見えない相手なので 内容が荒れてしまうことには要注意です。 お勧め。昔読んだ囲碁本、特に詰碁をやりましょう。4～5分で解らないときは、どんどん答えを見て次に進みましょう。以前に解いた問題が頭を巡ってきますよ。秋以降の手談を楽しみにしましょう。	中村敏明
俳句	俳句を難しいと考えている方も多いと思いますが、そんなことはありません。例えば「かるの子のはぐれて高き声あげぬ」これで歳時記に載るような立派な俳句なのです。コロナ自粛の中、時おり散歩に出かけ、目につくシャガやジャスミンの花、青鷺や白鷺、運が良ければカワセミ・・・などを使って一句作ってみませんか？ そして句会で17文字に込めた想いを語り合いませんか？ できた俳句は片平まで！	橘 優治
書道	部員の皆様、コロナ対策として～静かに自宅で出来る「書道」の勉強を！ 過日お届けした四字熟語と芭蕉の俳句の手本を参考に、各100枚ずつ書きましょ、次の宿題も用意しますから。プラクティス メイクス パーフェクトです。私は「吞舟之魚、不游支流、鴻鵠高飛、不集汚池」<どんしゅうの魚(舟を丸呑みするほどの大魚)は支流に游がず、こうのとりは高く飛び、汚池に集わず>(些事に惑わず凜として大道を歩む) この漢詩をコロナ対策として書作に頑張っています。	武藤 豊
太極拳	“家の中でもお外でも手軽にできる太極拳” 1日1回15分 ①立禅(腹式呼吸でゆっくりと) ②スワイショウ(万病予防の技) ③アロンガメントジナミコ(肩、肩、尻振り、足振り) ④八段錦 ⑤前歩き、後ろ歩き、弓歩のチェック、余裕があれば24式、ついでにスクワット、腕立て伏せ、腹筋、これでOK。	渡辺真司

ウォーキング&山歩き	今年、開催頻度を多くし（毎月1回）、内2～3回は山歩きに挑むという、積極的な計画でスタートしたが、コロナの為に3月梅見、4月桜の花見、5月山躑躅ハイク、6月菖蒲・紫陽花の観賞を中止した。人との接触回避要請の下では、家に閉じ籠っての運動不足が危惧され、大自然の中で浩然の気を養うことも叶わないが、せめて天気の良い日は近隣のウォーキング等でご自愛を。次回7月9日浅草寺ほおずき市は行きたいが！（実行の場合はメールで連絡します）	東海俊孝
グルメ	ニューコロナウィルスの終焉状況によりますが、来年3月頃にグルメ会を予定しています。皆さん、お勧めのお店がありましたら、紹介をお願いします。	高橋哲男 (代理)
郷土研究	ニューコロナウィルスの状況から年内の開催は難しいと判断して、緑の美しい来年5月頃に市内の湧水地、河川を歩きたいと思っています。	高橋哲男 (代理)
カラオケ	「緊急事態宣言」が発出されてから、引き続き「巣ごもり」を強いられています、家康の遺訓にある「不自由を常と思えば不足なし。」からすれば、何とか凌いでいけるとの思いで蟄居しています。特に、「三密」の最たるものとされる「カラオケ」は、復元に若干時間を要するかも知れませんが、必ずや沈静化し、歓声が飛び交う楽しい雰囲気に戻ってくることを信じ、皆さんとの再会を心待ちにしています。	高柳康夫
春秋早慶戦観戦	今春は異例づくめで、5月下旬開幕・1試合総当たり方式です。つまり5試合しか戦わないので、勝ち星1つ落とすと順位大変な事になります。東大上位進出か？ 慶応は戦力充実しているようですが、母校も小宮山采配2年目・エース早川主将は今年のドラフトの目玉の一人です。健闘を期待しています。 (追加：4月15日時点での原稿でした。その後、連盟からの正式発表はありませんが、延期もしくは中止の可能性大です、残念ながら。)	山口謙二
バドミントン.	今年度も楽しもうと企画していましたグリーンヒル八ヶ岳での7月合宿を延期します。「しばらくは 離れて暮らす コとロとナ つぎ逢ふ時は 君といふ字に」 作者不詳、ネットで流行っているようです。早く実現しますように。	坂井淑晃
映画鑑賞	ニューコロナウィルスの状況から二度延期して現在、9月24日に映画鑑賞会を予定しています。会場は3密ですから無事に開催できれば良いのですが。	高橋哲男
マグカップの会	「マグカップの会」の皆さんへ 「巣ごもり」は、高齢者にとって代表的な“特技”の一つですが、これが今や全国、全世代の大きな課題になっているのは皮肉です。コロナ禍明けには巣ごもりの奥義について、是非会員の皆さんに鋭い講釈をお願いします。	國米家巳三

東稲広報室

<会員名簿作成にあたり、個人情報非開示希望の確認>

今年度の「会員名簿」の印刷準備を始めます。つきましては、個人情報非開示希望の確認を致します。掲載項目「住所・電話番号・卒業年度/学部」の各情報の中で、非開示を希望する項目がある場合は、5月末日までにその旨を事務局までご連絡ください。名簿配付は次号「東稲ニュース」と同時予定です。

<年会費の支払>

当会年会費¥3,000の納入のお願いです。例年ですと「総会」参加時に納入していただいた会員も多数いらっしゃいました。しかしその総会が中止となってしまったので、今年度分の納入に関しては、部会活動再開時に、参加している役員メンバーにお渡しいただく方法でも結構ですし、下記口座宛送金いただいてもOKです。いずれかの方法で納入をお願いいたします。「郵便貯金通帳」



をお持ちの方でしたら、郵便局の ATM で送金(振替)すれば手数料が¥100 です。下記いずれかの口座への送金(振替)を行ってください。

★東久留米稲門会口座 【預金種目】 通常貯金 【記号】 1 0 0 0 0 【口座番号】 2 3 2 8 6 8 4 1

★払込取扱票振替口座 【記号】 0 0 1 0 0 -6 【番号】 1 1 6 0 7 【加入者名 ; 画面】 東久留米稲門会

<次号「東稲ニュースNo.113」は刊行を延期します>

市の公共施設使用制限が6月末まで延長されたことから、当会の活動休止状況がこのまま6月も継続することが確定的です。活動報告が無く活動予定も不透明なことから、次号「東稲ニュース」の予定通りの7月10日刊行は難しく、安心して会員が集い活動が再開できるようになるまで、刊行を延期いたします。その間、会員の皆様への広報活動は、当会ホームページを活用して実施して行きます。定期的に東久留米稲門会ホームページ<<http://higashikurume-toumonkai.com/>>をチェックするようお願いいたします。

編集委員会

<校友会本部からの連絡/要請事項>

大学校友会本部から、今回の新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、校友に向けての重要なお知らせや緊急の要請が発出されており、校友会ホームページの「お知らせ」ページに掲載されています。

<<http://www.wasedalumni.jp/news/2020/04>> 重要と思われる4月3日付のお知らせ、及び4月24日付の要請につき、一部抜粋して下記に転載いたします。この寄付金について校友個人としての対応はもちろん任意ですが、東久留米稲門会としての対応は、役員会で協議の上で決めていく予定です。

新型コロナウイルスの影響拡大に伴う校友会各支部・稲門会への要請期間延長(9月19日まで)について

2020年4月3日

現在、新型コロナウイルスは世界的な感染流行となり、今年の夏に予定されていたオリンピック・パラリンピックが延期となるなど、日本国内においても一層深刻な状況となっております。早稲田大学でも様々な式典・イベントを中止し、授業開始日程を5月11日(月)とするなど苦渋の決断をまいりました。早稲田大学には、しっかりとした教育を提供する使命と、学生の健康と安全を確保する教育環境を提供するという大切な使命があります。この使命をきちんと果たすためには、重要な式典・イベント等を諦めてでも、効果的な教育を提供できる健康で安全な環境を整えることが最優先である、と考えております。

早稲田大学校友会についても、会議・各種総会・会合・イベント等の実施を4月末まで中止・延期とする措置をとっていただくようお願いをまいりました。しかし、事態の深刻さと今後の収束が見込めない状況の中で、皆様の健康を第一に考えると、当面はこの措置を緩和することはできないと考えております。特に校友会・稲門会活動では沢山の方が集まって懇親する機会が多いこと、感染リスクが高いと言われているご高齢の方も多いため、一層の注意が必要です。

つきましては、これらの点を踏まえ、9月卒業式の前日である9月19日(土)までは、会議・各種総会・会合・イベント等の校友会・稲門会活動を中止・延期とする措置を延長させていただきます。諸活動において、審議や相談が必要な場合でも、メール・郵送・電話など極力感染リスクの少ない形でご対応いただけましたら幸いです。(中略)

なお、9月20日(日)以降の対応につきましては、国内外の感染状況を注視した上で、あらためて周知いたします。活動を楽しみに予定されていた関係者の皆様には大変心苦しく思っておりますが、なにとぞ協力のほど、宜しく願い申し上げます。校友の皆様におかれましては、健康面・安全面を第一にお考えいただき、くれぐれも自衛と体調管理にお努めくださいますようお願い申し上げます。この世界的危機に対して、校友の皆様を含む早稲田大学関係者が協力しあい、感染防止の模範となって乗り越えていけることを切に願っております。

早稲田大学総長・校友会会長・田中 愛治
早稲田大学理事・校友会代表幹事・萬代 晃

「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援金」へのご支援のお願い

ー 学生のために皆様の力をお貸しください ー

2020年4月24日

早稲田大学総長・田中 愛治

早稲田大学常任理事（募金総括）・齋藤 美穂

早稲田大学校友会代表幹事・萬代 晃

本学では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、授業開始の繰下げやオンライン授業への移行等、感染抑止に向けた措置を講じております。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、家計支持者の収入激減や学生本人のアルバイト収入の減少等で、修学の継続が難しくなる学生が発生しているのも事実です。

本学といたしましては、経済的な理由により就学をあきらめなければならない学生を一人たりとも出したいくない、さらに、新型コロナウイルス感染症を人類が克服し、終息した後（アフターコロナ）には、日本のみならず世界で貢献できる「たくましい知性」と「しなやかな感性」を持った学生を1名でも多く社会に送り出すというゆるぎない決意のもとに、総額5億円の支援策を講じることといたしました。



この支援策の柱のひとつである「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援金」は緊急に経済的支援が必要となった本学および附属高校・中学部、芸術学校の学生・生徒への支援を迅速に行うことを目的としており、さらに従来の家計急変者のための奨学金の増強、およびオンライン授業を受けるためのパソコンやWi-Fi機器の無償貸与などを含めて大学より約5億円の財政支出を行う予定です。しかし、さらなる支援の拡大と継続が必要です。そこで、このたび教職員や卒業生をはじめとして、ご支援をいただける個人・団体・法人の皆様をお願いする次第です。（中略）

募集目的 「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援金」の趣旨に基づき、学生への緊急的な経済的支援

募集金額 1口1万円

※困窮学生の勉学継続を助けるために、ぜひ多くのご支援をお願いいたします。なお、口数が整数でない場合でも、ご厚意を受け取らせて戴きたいと存じますので、ご支援の程よろしくお願い致します。

募集期間 特に定めておりません。

※早稲田大学へのご支援は、寄付金控除の対象となります。

※ご支援は早稲田大学の寄付制度「WASEDA サポーターズ倶楽部」を通じて受け入れさせていただきます。

（詳細は校友会ホームページ <http://www.wasedaalumni.jp/news/200424.html> をご覧ください）

<会員リレーエッセイ> ~噴水広場~

自転車と私

三浦 洋子（S54 文）

テレビや新聞を見るとコロナウイルスの感染関連のニュースばかりで、『いつになったら終息するのだろうか？ どうか家族やみなさんが無事で乗り切れますように…。』と祈るような毎日だ。

こういう時に何気ない日常生活を送ることの有難さが身に染みる。そこで、その何気ない私の日常を支えてくれた物について書いてみることにした。

私とその自転車を買ったのは平成になる少し前の頃だった。

同級生の営んでいる自転車屋で『値段の割にはしっかりと作られている』という理由で選んだ。色は地味な臙脂色だった。

当時は二人の娘達の保育園への送り迎えがあったので、前と後ろに椅子を備えたママチャリだった。保育園の帰り、後ろの椅子に長女を先に乗せたのが気に入らず、次女が怒って泣いて、保育園の門の前で30分も立ち往生したこともあった。



車の運転免許を持たない私にとって、買い物は勿論のこと通勤にも必要な無くてはならない脚となった。公立中学校の教師をしていたので数年に一度転勤があった。片道30分や40分かけて自転車をこぐのはざらだった。会議で遅くなった時は暗い夜道を夢中で走った。雨の日も風の日も共に通った。雪の日にうっかりブレーキをかけて転んだこともあった。

タイヤがパンクしたり、ランプがつかなくなったり、ブレーキの線が切れたりすると近所の自転車屋のおじさんに直してもらった。年齢80を超えたそのおじさんの口癖は「これは昭和の国産の自転車だから、しっかりしているよ。大事に使いなよ。」だった。

退職した日は籠いっぱい花束を載せて走った。

長く使い込んで年季の入った自転車だったのでスーパーに置き忘れ、翌日探しに行ったら、廃棄物置き場に運ばれていたこともあった。その姿を見て何だかとても愛おしくなった。

しかし、平成も終わろうという年の暮れ、その自転車は動かなくなった。両輪のパンクとランプの故障。おじさんの自転車屋は閉まっていた。

夫が「もう、潮時だよ。新しいのを買ったら。」と言う。私はぐずぐずと迷っていた。

まだ、直せば何とか動くのではないかな。そう思って、自転車置き場で眺めては戻っていた。

でも、股関節が悪く重い荷物を持って歩くのが大変な私にとっては、自転車が無いとスーパーへの買い物も滞ってしまう。

そして、とうとう私はその自転車に別れを告げた。駅前の自転車屋までもって行き、引き取ってもらった。平成の時代を共に駆け抜けた自転車だった。北風の吹く、空が抜けるように青い日だった。

代わりに買った新しい自転車の色は同じ臙脂色、早稲田カラーだ。



<編集後記>

普段は仕事と近所のつきあいだけで、のんびり暮らしています。世界の出来事は、毎朝「海外ニュース」を観るだけ。



このたびの新型コロナウイルスは、世界全体を考えなければという教訓になりました。目に見えないウイルスと闘う、ワクチンを早くつくるなど、課題がいっぱいですね。

公的施設が閉鎖になり、部会を開くことができなくなりました。今まで活動できたのはなんと幸せだったのでしょう。みんなで楽しく部会ができる日よ、早く来い! (前川初子)

編集委員：片平 るみ(今回の担当)、有賀 千歳、小山田 朋樹、前川 初子
